

JA合併20周年記念焼酎「安納結び」が完成！



▲種子島の特産品「安納芋」で作られた焼酎「安納結び」を持つ宮脇組合長

JA種子屋久は、合併20周年を記念し、オリジナル焼酎「安納結び」を製作しました。

本焼酎は、当JA産安納芋の取引先である地元の酒造会社のご協力のもと、独自キャラクター「たっくん」「やっくん」や種子島・屋久島をモチーフとしたオリジナルラベルを採用した記念仕様となっています。また、和紙調と夜空をイメージした2種類のラベルデザインを製作し、それぞれ異なる魅力をお楽しみいただけるよう工夫しました。

銘柄の「安納結び」は、本焼酎の原料である地域特産品「安納芋」の名を冠するとともに、「結び」には、生産者、JA、地域、そして消費者を結ぶという思いを込めています。また、20周年を契機として、地域農業の魅力や安納芋ブランドの価値を広く発信し、人と人とのつながりを大切にしたいという思いも込めています。

本焼酎は、11月に開催予定のJAまつりにおいて、合併20周年記念品として抽選会の景品などに活用するほか、関係機関や取引先への贈答品としても活用し、JA種子屋久の魅力や20周年の節目を広く発信してまいります。

この「安納結び」が、多くの皆様にJA種子屋久をより身近に感じていただくきっかけとなり、地域とのつながりをさらに深める一助となることを期待しております。

